

教育研究業績書

所属	職名	氏名
幼児教育学科	教授	柴田 賢一
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
教育実習指導における模擬設定保育と、録画機器を用いた振り返り(中九州短期大学)	2011年4月 ～2015年3月	教育実習指導担当教員3名のうち、主担当教員として、授業を企画・運営した。実践的な保育力を養うため、模擬部分保育を「遊び」「日常生活」などの場面設定をして実施。その様子を録画し、後の授業で録画したものを学生に見せながら解説と反省会を行った。 学生にとって自らの長所・短所が具体的に認識できる機会であり、また数多くの模擬設定保育を行うことで、学生が実習で実際に行う設定保育の種類 教職実践演習において、幼稚園園長または主幹教諭を招いての講話をコーディネートし、実施した。八代市公立幼稚園長や熊本市の私立幼稚園主幹教諭に依頼し、「現場で求められる教員像」をテーマに保育実技の実演や教員間の連携などについての講話を行っていただいた。
教職実践演習における現職教諭による講話(中九州短期大学)	2011年 ～2014年	
私立幼稚園登録試験対策講座の開講(中九州短期大学)	2011年 ～2014年	学科内の担当教員として、左記講座を開講した。平成23年度から平成26年度にかけて、4月～8月に週1コマ～週2コマの対策講座を実施。学習への動機づけに役割を果たした。
(2)作成した教科書・教材・参考書		
『教育原理』	2012年4月	日本の教育制度を担当、幼稚園教諭養成に資するものとなるよう留意し、幼児教育制度史と教員養成史に重点をおいて記述した。講義科目「教育原理」にて教科書として使用した。
『教育と教師のフロンティア』	2013年4月	コラム「モンスターペアレント論のゆくえ」において、現代の教師における喫緊の課題としての保護者対応について論じた。講義科目「保育者論」にて教科書として使用した。
『教育と法のフロンティア』	2015年4月	コラム2「幼児教育の義務教育化論・無償化論について思う」において、5歳児の義務教育化論を中心に論じている。教員免許状更新講習にて一部資料として用いた。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
(4)その他教育活動上特記すべき事項		
1. くまもと県民カレッジ講師	2011年8月	テーマ「親子関係の歴史と現在～教育するのは親？教師？」
2. 中九州短期大学公開講座講師	2011年11月	テーマ「家族ってなに？」
3. 第41回熊本県私立幼稚園連合会教師研究大会助言者	2012年7月	水俣ふたば幼稚園 助言者
4. 私立幼稚園連合会教師研修大会九州ブロック大会助言者	2012年8月	水俣ふたば幼稚園 助言者
5. くまもと県民カレッジ講師	2012年8月	テーマ「〈モンスターペアレント〉論」再考
6. 熊本県私立幼稚園連合会水俣地区研修会講師	2012年8月	テーマ「〈モンスターペアレント〉論」再考
7. 中九州短期大学公開講座講師	2012年12月	テーマ「保育にできること！～保育と小児看護について考える～」

8. 八代市立保育園研修会講師	2013年1月	テーマ「保育に出来ること！～保育におけるケアをどう展開させるか～」
9. 第42回熊本県私立幼稚園連合会教師研究大会助言者	2013年7月	松橋幼稚園 助言者
10. 熊本県私立幼稚園連合会宇城八代地区研修会講師	2013年8月	テーマ「〈モンスターペアレント〉論」再考
11. 第56回熊本県保育研究大会助言者	2014年2月	熊本市立春日保育園、玉名市立玉名第一保育所、海東保育園 助言者
12. 第43回熊本県私立幼稚園連合会教師研究大会助言者	2014年7月	滝尾幼稚園 助言者
13. 第44回熊本県私立幼稚園連合会教師研究大会助言者	2014年7月	松寿幼稚園 助言者

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌（及び巻、号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
(著書)					
1.『教育原理』第8章 日本の教育制度」	共著	2012年4月	一藝社	大沢裕、他14名	pp. 102-112
2.『教育と教師のフロンティア』「コラム2 「モンスターペアレント」論のゆくえ」	共著	2013年4月	晃洋書房	伊藤良高、中谷彪、他16名	pp. 39-41
3.『生徒指導のフロンティア—原理・方法・応用—』第8章 生徒指導の諸問題—その対処と対応— 12 無理解な保護者（いわゆる「モンスター・ペアレント」）の指導	共著	2013年4月	晃洋書房	伊藤良高、中谷彪、永野典詞、他25名	pp. 85-87
4.『道徳教育のフロンティア』第12章 世界の道徳教育 2 イギリスの道徳教育」	共著	2014年9月	晃洋書房	伊藤良高、永野典詞、他20名	pp. 106-109
5.『教育と法のフロンティア』「コラム2 幼児教育の義務教育化論・無償化論について思う」	共著	2015年4月	晃洋書房	伊藤良高、永野典詞、他11名	pp. 34-36
(論文)					
1. 西欧家政論史研究序説—ジョヴァンニ・ドミニチ『家政の指針』(1401)を手がかりに	単著	2006年3月	神戸大学大学院総合人間科学研究科《修士論文》		
2. 西欧家政論にみる「教育(education)論—トマス・キッド『家長の哲学』(1588)を中心に	単著	2008年9月	神戸大学大学院人間発達環境学研究科『研究紀要』第2巻第1号		
3. 16世紀イングランドにおける家政・教育・統治—家長のために書かれた二冊の助言書から	単著	2009年3月	神戸大学大学院人間発達環境学研究科『研究紀要』第2巻第2号		
4. 初期近代イングランドにおける親・子・教師—教育する権威とその淵源としての家政	単著	2010年10月	教育史学会『日本の教育史学』第53集		
5. 初期近代イングランド家政論研究—家族と教育の関係史	単著	2010年12月	神戸大学大学院総合人間科学研究科《博士論文》		
6. 初期近代イングランドの家政論にみる体罰(Ⅰ)—ドッド/クリーヴァーの家政論(1598)	単著	2012年3月	中九州短期大学『論叢』第34巻1号		
7. 幼稚園教育と預かり保育の実際—預かり保育における設定保育の効果—	共著	2013年3月	中九州短期大学『論叢』第35巻1号	淵上美幸(幼稚園教諭)	

8.初期近代イングランドの家政論にみる体罰(Ⅱ)—体罰肯定の論理—	単著	2013年3月	中九州短期大学『論叢』第35巻1号		
9. 初期近代イングランドの家政論にみる女性の〈教育〉役割—授乳から統治まで—	単著	2013年9月	九州教育学会『研究紀要』第40巻		
10. 保育者にとっての「教育相談」の難しさ—幼稚園における「教育相談」についての予備的考(その他)	単著	2015年6月	尚綱子育て研究センター『見やらい』第12巻		
1. (研究会報告)白水浩信『ボリスとしての教育』合評会 コメンテーター	共同	2005年3月	大人と子供の関係史研究会(東京大学)	岩下 誠	
2. (研究ノート)史料紹介 初期近代イングランドの教育に関する文献	単著	2009年3月	神戸大学発達科学部教育科学論講座編『教育科学論集』第12号		
3. (口頭発表)初期近代イングランドにおける親・子・教師—教育する権威とその淵源としての家政	単独	2009年10月	教育史学会 第53回大会(名古屋大学)		
4. (口頭発表)史料紹介 初期近代イングランドの家政書 — Robert Snowsel, A Looking—	単独	2010年8月	神戸大学教育学会		
5. (口頭発表)初期近代イングランドの家政論にみる女性の〈教育〉役割—授乳から統治まで—	単独	2012年11月	九州教育学会 第64回大会(大分大学)		
6. (研究会報告)初期近代イングランドの家政論文献にみる子どもの〈教育〉—education概念と親	単独	2012年12月	幼児教育史学会 第8回大会「幼児教育史の研究動向を愉しみながらフォーローする会」		
7. (研究ノート)教職実践演習(幼稚園)の課題と展望—学生アンケートをもとに—	単著	2014年3月	中九州短期大学『論叢』第36巻1号		
8. (口頭発表)家族の内側と外側—初期近代イングランドにおける家族と子ども—	単独	2014年11月	日本保育ソーシャルワーク学会 第1回大会(熊本学園大学)		
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					